

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和2年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ 令和元年度は、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

□ 事業内容

区民交流施設整備事業

- ・ 東成区における豊かなコミュニティを醸成していくための区民交流施設「ふれ愛パンジー」に、国産木材を使用した机・椅子を整備した。

【事業費】390千円（うち譲与税390千円）

【実績】スタッキングチェア（椅子） 4脚
折畳み可動テーブル（楕円型） 1脚



□ 事業スキーム

随意契約

□ 工夫・留意した点

- ・ 机・椅子の角の部分丸みを帯びた形状にし、「ふれ愛パンジー」利用者の安全面に配慮した仕様にした。
- ・ 木材は岐阜県産スギを使用し、木目がわかるデザインにすることにより、木のぬくもりを肌で感じとれる製品となっている。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	232,924千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より